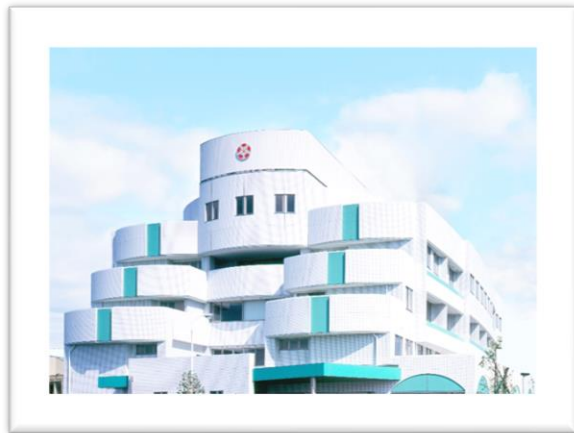


# 福井県済生会介護老人保健施設 ケアホーム・さいせい

所在地：福井県福井市  
従業員数：85名  
事業内容：介護老人保健施設



## ■利用コース概要

- ・コース名：職場のリーダーに求められる統率力の向上
- ・実施時期：令和7年7月（平日）6時間
- ・受講者数：8人

## 事業主の

声

### ●訓練を利用したきっかけ

生産性の向上や人材育成に取り組む中で、①リーダーシップ、部下マネジメントが発揮できていない②人材育成のシステムが構築されていない③自主的に課題発見、解決ができていない状況を課題と感じていたところ、ポリテクセンター福井から組織マネジメント分野の内容で訓練の提案があり、受講を決めました。今回の訓練は、管理職が自身の役割を正しく理解し、部下との面談スキルやモチベーションがあがる接し方を学ぶことを目的に、現場の管理職全員に受講してもらいました。

### ●訓練利用によって得られた成果や影響

訓練を受講した職員の中から、「他の研修も受講したい」と、研修受講へ前向きな姿勢が見受けられました。また、「対利用者への役割意識」は今まで意識していましたが、「対職員への管理職としての役割意識」について、今回の研修で考える機会となり、部下との接し方において良い変化が見られた職員がいました。まずは、部下の話を聞いて受け止める。この姿勢が重要だと改めて認識しました。

カリキュラムの打ち合わせでは、自分たちが考えていた内容にプラスして講師の方からご意見をいただいたこともあり、6時間の訓練でしたが、内容の濃いカリキュラムとなりました。

ポリテクセンター生産性訓練は、コストパフォーマンスがとても良く、今後もテーマを変えて継続利用をし、指導力の向上や従業員満足度の向上等に繋げていきたいと考えています。



## ●訓練を受講した感想

これまでは、職種間や世代間で異なる価値観があることから意見の対立が常にある状態でした。コミュニケーションの難しさを感じていたところ、今回の研修を受講し、良い刺激や多くの気づきを得ることができました。

具体的には、訓練受講前までは自分は職員とコミュニケーションができているつもりでしたが、実は自分の思いをしっかりと言葉にできていないことに気づくことができました。言葉にできない背景として、「相手を信用できていない」と知りました。今は、まず、相手を信用し、自分の思いを伝えるよう意識しています。また、自分自身を見つめ直すきっかけにもなり、自身の長所・短所を意識してコミュニケーションを図るようになりました。

訓練を通して、管理職としての役割意識を高めることができ、よかったと感じています。

